

町立小学校の適正な規模及び配置の基本的な考え方について(答申)

矢吹町学校規模適正化検討委員会 概要版

矢吹町学校規模適正化検討委員会(以下「検討委員会」という。)は令和4年10月に設置され、望ましい学校教育環境の整備に取り組むため、令和6年7月8日付けで、矢吹町教育委員会より、「町立小学校の適正な規模及び配置の基本的な考え方について」の諮問を受けました。

児童生徒や保護者、地域住民等に対するアンケート調査の結果を踏まえつつ、検討委員会では、「子どもたちを主役に検討する。」、「子育て世代、地域住民の意見を尊重する。」、「地域との連携、協働を促進する。」という3つの基本姿勢のもと、魅力ある学校づくりとするためには、学校はどうあるべきかを第一に議論し、ここに、答申を取りまとめました。

第1章 町立小学校の現状について

1.町立小学校の現在の児童数及び学級数(R7.4.1 現在)

令和7年4月1日現在の児童数は矢吹小学校178人(8学級)、善郷小学校417人(15学級)、中畑小学校143人(6学級)、三神小学校96名(6学級)の合計**834人(35学級)**となっている。

中畑小学校と三神小学校は、いずれも各学年1学級となっている。

2.町立小学校全体の児童数の将来推計

町立小学校全体の児童数は、令和7年度時点で834人ですが、6年後の令和13年度には617人へと減少する見込みです。この7年間で、217人(約26.0%)減少する推計である。

3.町立小学校の老朽化の現状

矢吹小学校は、平成26年に西校舎、平成27年に東校舎の長寿命化改修工事を実施しており、概ね良好な状況となっている。善郷小学校、中畑小学校、三神小学校については、計画的に修繕しているものの、外壁のひび割れや老朽化による設備機器の故障、衛生環境及び照度確保などの懸念がある。

4.町立小学校の維持管理費の推移(令和元年度～令和5年度)

計画的に工事を行っているため、各小学校の維持管理費用は、それぞれ年間約2～3千万円であり、小学校全体として要する共通経費(光熱水費や通信費等)は、少なくとも年間約4千万円となっている。

第2章 町立小学校の適正な規模について

1.町立小学校の1学級あたりの児童数及び1学年あたりの学級数

●1学級あたりの児童数は、21人～25人が望ましい。

●1学年あたりの学級数は、2～3学級が望ましい。

第3章 配置の基本的な考え方について

1.町立小学校のあるべき姿

①子どもが主役の学校

●ICTの活用や異学年交流等により、個別最適な学び・協働的な学びを実現し、子どもたちが将来を生き抜くために必要な知識・技能を育む教育環境の整備を目指す。

②安全・安心な学校

●施設の適切な維持管理・修繕によるハード面の安全対策と、いじめや暴力がない環境づくりや不登校対策など、子どもの心のケアに配慮するソフト面の対策を行う学校を目指す。

③地域・家庭とともにある学校

●地域・家庭に開かれ、地域と学校が一体となって子どもを見守り育む、地域の核としての学校を目指す。

令和8年1月30日

2.再配置(統合等)の必要性と進め方

- 児童にとって望ましいと考えられる学校環境を維持するため、小学校の一括統合を行い、適正規模に近づけることが望ましい。
- 一括統合の際の校舎については、「新設」が望ましい。

3.再配置による統合小学校の候補地

- 統合小学校の候補地は、町有地であること、十分な面積を確保できることから「旧総合運動公園用地を第一候補」とする。ただし、今後、具体的な計画を進めていくなかで、生じる問題によっては、他の場所を検討することも必要。

第4章 再配置(統合等)にあたって配慮すべき事項

1.通学支援

- 住民ニーズを踏まえ、児童の安全・安心の確保のため、スクールバス等の支援の検討が必要。

2.地域との関わり

- 再配置の必要性や候補地、進め方について、地域との対話を重ねながら検討する。
- 子どもたちのより良い環境づくりのため、保護者、地域住民、各種団体等との協力体制を構築し、地域に開かれた学校を目指す。

3.幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校との連携

- 小学校の再配置により、これまで以上に連携強化が図られることを期待する。

第5章 今後の検討事項

1.スケジュール

再配置に係る条件の整理やコストの算定、補助金等の調査検討を行う必要がある。
再配置のスケジュールを明確に示していく必要がある。

2.事業費・財源

再配置に係る事業費を精査し、補助金等の財源確保に努め、町部局との十分な協議を図るとともに、町民への説明を尽くし、理解を醸成することが重要。

3.既存施設・跡地の活用

廃校となった学校施設については、可能な限り、その利活用を図ることとし、地域と行政が一体となり、地域の活性化に資する検討を期待する。